

利尻山高山帯の蛾類

—利尻島・礼文島昆虫相調査報告—

楠 祐一

(〒078 北海道旭川市神楽岡11条3丁目)

保田信紀

大雪山国立公園層雲峡博物館

(〒078-17 北海道上川郡上川町字層雲峡)

Insect Faunal Survey of Is. Rishiri and Is. Rebun

The Moths of the High Aititude Zone on Mt. Rishiri,
Is. Rishiri, Hokkaido

By

Yuichi KUSUNOKI

Kaguraoka 11-3, Asahikawa, Hokkaido, 078 Japan

Nobuki YASUDA

Sounkyou Museum of Natural History

Sounkyou, Kamikawa-cho, Hokkaido, 078-17 Japan

緒言

利尻山（標高1721m）は利尻島中央に位置する孤立峰である。これまで高山帯での蛾類調査は数人の研究者により数回試みられているが、未だ十分な情報は得られていない。

我々は北海道の高山帯に生息する蛾類の研究を継続的に行っているが、1990年に2回にわたり利尻山高山帯において蛾類調査をする機会を得たので、その調査結果を報告する。

利尻・礼文・サロベツ国立公園における「特別保護地域」での調査は環境庁長官（平成2年4月21日付環自北許第278号）の許可を得て実施した。

本文に入るに先立ち、現地調査に際して御協力をいただいた野田佳之氏、種々の便宜をお図り戴いた利尻町立博物館の西谷栄治・佐藤雅彦の両氏に深謝致します。

調査日程

1. 1990年6月25日-26日（調査者：保田）

鴛泊コースにて上山し利尻山小屋泊。26日は山小屋～山頂の高山帯を中心に日中に昼飛性種を調査した。

2. 1990年8月2日-4日（調査者：楠・保田）

鴛泊コースにて上山し利尻山小屋泊。2～3日夜間、小屋より300mほど登った稜線部でケロシンランプによる灯火採集を行った。2日夜は無風で暖かくかなりの成果が得られた。しかし3日夜は強風のため全く飛来がなかった。3～4日日中は山小屋周辺を中心に、昼飛性種を調査した。

確認種目録

凡例：多くの確認種は8月2日の灯火採集によるものなので、これらについては採集地、年月日

を省略した。それ以外の採集品にのみ地名、月日を記した。高山蛾は和名の右肩に*印を付して示した。

I. INCURVARIIDAE マガリガ科

1. "Lampronia" sp. 1♂2♀, 4. VIII

亜高山帯(600-800m)で日中得られた。本種は大雪山系の亜高山帯-高山帯にも生息しているが、種名を決定できていない。本州中部山岳地帯に生息するヘリモンマガリガによく似ている。

II. TORTRICIDAE ハマキガ科

1. *Archips oporanus* (LINNAEUS) マツアトキハマキ 1♂

2. *Apotomis capreana* (HUBNER) ヤナギツマジロヒメハマキ 1♀

3. *Epinotia crucinana* (HUBNER) ミヤマヤナギヒメハマキ* 2♂2♀, 3. VIII

山小屋周辺のミヤマヤナギ上で日中得られた。本種は北海道・本州の高山帯に分布する高山蛾である。北海道内ではこれまでに大雪山系・無意根山・羊蹄山・夕張岳・知床山系の高山帯から記録されている⁽²⁾⁽³⁾。利尻山からは今回の調査で初めて記録された。

4. *Epinotia rubricana* KUZNETZOV ツチイロヒメハマキ 3♂, 4. VIII

亜高山帯(600-800m)の登山道付近に日中多かった。本種はハンノキ類に寄生するので、この標高に多いヤマハンノキを食しているものと思われる。

5. *Epinotis pinicola* KUZNETZOV ハイマツコヒメハマキ* 1♂, 3. VIII

山小屋付近のハイマツを叩いて日中得られた。本種はハイマツに寄生し、北海道・本州に分布する高山蛾である。道内では大雪山系・夕張山系・知床山系・天塩山系および幌尻の高山帯のハイマツ帯より分布が確認されている⁽²⁾⁽⁴⁾⁽⁵⁾。利尻山からは初めての記録である。

6. *Rhyacionia* sp. ハイマツアカシムシ 2♂

本種もハイマツに寄生する種であるが、これまでに弟子屈と鷹泊の2ヶ所から僅かな個体を得られているだけで極めて稀な種である⁽⁶⁾。

また、高山帯のハイマツ帯からは記録がなく2)、高山蛾とはされていない。今回の調査では、ハイマツ帯での灯火採集で2♂が得られた。

7. *Dichrorampha cancellatana* KENNEL

ヘリホシヒメハマキ 1♂, 4. VIII

亜高山帯(600-800m)の登山道付近に日中多かった。

III. COCHYLIDAE ホソハマキガ科

1. *Aethes cnicana cnicasna* (WESTWOOD) ニセ

エダオビホソハマキ 1♀, 26. VI

登山道付近で日中得られた。

IV. PYRALIDAE メイガ科

1. *Crambus perlellus* (SCOPLI) ウスギンツトガ 1♂

2. *Catoptria submonivaga* BLESZYNSKI ニセフタテンツトガ 1♂

3. *Palpita nigropunctalis* (BREMER) マエアカスカシノメイガ 1♂

V. DREPANIDAE カギバガ科

1. *Drepana curvatula acuta* BUTLER オビカギバ 1♂

VI. GEOMETRIDAE シャクガ科

1. *Geometra papilionaria subigua* (PROUT) オオシロオヒセアオシヤク 1♀

2. *Idaea biselata* (HUFNAGEL) ウスキヒメシヤク 2♀

3. *Aplocera perelegans kurilata* (BRYK) ツマアカナミシヤク 2♂

灯火で得られたが、日中も高山帯を飛翔している個体が時折見られた。

4. *Brabira artemidera artemidera* (OBERTHUR) キリバネホソナミシヤク 1♂2♀

5. *Photoscotosia atrostrigata* (BREMER) ネグロウスベニナミシヤク 1♀

6. *Gandaritis fixseni* (BREMER) キマダラオオナミシヤク 1♂

7. *Gandaritis agnea festinaria* (CHRISTOPH) キガシラオオナミシヤク 1♀

8. *Lamprteryx minna* (BUTLER) アトクロナミ

シャク 1♂

9. *Lobogonodes erectaria* (LEECH) キホソジナ
ミシャク 1♂2♀
10. *Dysstrkma infuscata subglauca* INOUE
ウスキナカジロミナシャク 1♂
11. *Viudaleppia taigana sounkeana* (MATSUMURA)
ソウクロオビナミシャク* 9♂2♀
本種は北海道・本州に分布する高山蛾である
1)7)。道内では大雪山系を始めとして、夕張
山系・知床山系・天塩岳・幌尻岳・羊蹄山の
高山帯に広く分布す^{(3) (4) (5) (8)}。利尻山からは
かつて1♂だけが記録されていた⁽⁹⁾。今回多
数の個体が得られたが、斑紋・色彩は道内の
他山系とほぼ同様であり、亜種 *sounkeana* に
一致するものと考えられる。
12. *Venusia cambrica* CURTIS ミヤマナミ
シャク 1♂1♀
13. *Perizoma saxenum* (WILEMAN) ヒメカバス
ジナミシャク 3♂3♀
14. *Myrteta unio* (OBERTHUR) ミスジシロエダ
シャク 2♂
15. *Syngia ichiosawana* (MATSUMURA) マルハ
グルマエダシャク 3♂1♀
16. *Crypsicometa incetaria* (LEECH) ツマキエ
ダシャク 2♂
17. *Alcis picata* (BUTLER) シロシタオビエダ
シャク 3♂

VII. LASIOCAMPIDAE カレハガ
科

1. *Philudoria potatoria mikado* (BRVK) ヨシカ
レハ 1♂

VIII. NOTODONTIDAE シャチホコガ
科

1. *Ptilodon robusta* (MATSUMURA) エグリシャ
チホコ 1♂

IX. ARCTIIDAE ヒトリガ科

1. *Eilema griseola aegrota* (BUTLER) キシタ
ホソバ 2♀
2. *Agylla gigantea gigantea* (OBERTHUR) キベ
リネズミホソバ 1♂
3. *Mitochrista pallida* (BREMER) ハガタキコ

ケガ 1♂

X. NOCTUIDAE ヤガ科

1. *Bryophila melachlora* (STAUDINGER) マルモ
ンキノコヨトウ 1♂
2. *Agrotis patuia* WALKER ホッキョクモ
ンヤガ* 5♂
本種は北海道・本州に分布する高山蛾である。
道内からは大雪山系より知られているほか、
利尻山からは神保らが2♂を採集して分布を
確認している⁽¹⁰⁾。本種の色彩は・斑紋など
には地理的変異が強いことが知られるが(1)、
今回の利尻山産の5個体はお互いに斑紋や前
翅の翅型の変異が強く、他山系との比較のた
めには、さらに追加標本が必要と思われる。
3. *Ochropleura fennica* (TAUSCHER) アトウス
ヤガ 2♂1♀
本種は高山蛾ではないが、極めて分布の限ら
れている珍しい種で、我が国では大雪山周辺
の亜高山帯一山地帯・天塩・根室などから知
られているにすぎない^{(1) (8)}。利尻山からは今
回の調査で初めて発見された。
4. *Hormonassa arenosa* (BUTLER) ホシボシヤガ
1♂
5. *Spaelotia disgnosta* (BOURSIN) ウスイロカ
バスジャガ 5♂1♀
6. *Diarsia brunnea* (DENIS&SCHIFFERMULLER)
ミヤマアカヤガ 7♂
7. *Diarsia dewitzi* (GRAESER) モンキヤガ 3
♂
8. *Anomogyna speciosa* (HUBNER) フルプスヤガ
* 9♂
本種は北海道・本州に分布する高山蛾である
1)。道内では、大雪山系・夕張山系・知床山
系・幌尻岳・羊蹄山に分布し、利尻山からも
既に記録されている。^{(3) (5) (8) (11)}。今回の調査
では個体数は比較的多かった。斑紋・色調は
道内の他山系の個体と同様である。
9. *Eurois occulta* (LINNRAEUS) オオシラホシ
ヤガ 2♂
10. *Anaplectoides prasina* (DENIS & SCHIFFERMUL-
LER) アオバヤガ 1♂
11. *Pseudaletia separata* (WALKER) アワヨトウ
1♂

12. *Blepharita bathensis* (LUTZAU) ミヤマハガ
タヨウトウ 1♂2♀
13. *Apamea lateritia* (HUFNAGEL) オオアカヨ
トウ 7♂
14. *Apamea hampsoni* SUGI ネスジシラク
モヨトウ 2♂
15. *Parastichtis suspecta* (HUBNER) ハイイロ
ヨトウ 1♂
16. *Mesapamea concinnata* HEINICKE ホシミミ
ヨトウ 1♂
17. *Sapporia repetita* (BUTLER) サッポロチャ
イロヨトウ 2♂
18. *Luperina hedeni hedeni* (GRAESER) モヤマ
チャイロヨトウ 1♂
本種は北海道・本州に分布するが、道内では
東部（標茶・知床半島など）のみから知られ
ていた。道北部では初めての記録であるが、
斑紋の特徴は東部産と同様で、原名亜種に近
い。
19. *Chasminodes sugii* KONKUNENKO クロハナギ
ンガ 1♂
20. *Lithacodia falsa* (BUTLER) スジシロコヤガ
1♂
21. *Antoculeora ornatissima* (WALKER) ギンボ
シキンウワバ 1♂
22. *Antographa amurica* (STAUDINGER) オオム
ラサキキンウワバ 1♂
23. *Synnoides picta* (BUTLER) シラフクチバ
1♂

以上10科58種の蛾類を、今回の調査で利尻山高山帯より確認することができた。このうち、いわゆる高山蛾（和名の右方に*を付した種）では、大蛾類が3種、小蛾類が2種の合計5種が確認できたことになる。このうちの2種（ミヤマヤナギヒロハマキ、ハイマツコヒメハマキ）は、今回の調査で利尻山より初めて生息の確認された高山蛾である。この他今回は確認できなかったが、リシリハマキも利尻山高山帯より既に確認されているので²⁾、利尻山高山帯から生息の確認できた高山蛾は合計6種となる。北海道全体の山岳部では総計34種の高山蛾（大蛾類+ハマキガ類）が記録されているので^{2) (5) (8)}、その18%が確認されたことになる。

高山蛾以外では、分布上興味深い種として、ハイマツカシムシ、アトウスヤガ、ミヤマチャイロヨトウなどが得られた。

利尻山高山帯にはこれまで数人の研究者により蛾類調査が試みられているが^{2) (10) (12) (13)}、強風など気象的な悪条件などのために、未だ十分な情報は得られていない。今回の調査でも数回灯火採集を試みる予定であったが、実際に調査できたのはひと晩だけであった。従って高山帯の調査はまだまだ不十分であり、さらに未知種の生息の可能性もあるので、今後とも調査を継続していきたい。

参考文献

- 1) 井上 寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑。講談社、東京。
- 2) 楠 祐一(1987) 北海道の高山性ハマキガ類について。蛾類通信 141:245-252。
- 3) 楠 祐一・神保一義・柳田慶浩・高橋隆一・保田信紀(1990) 北海道羊蹄山高山帯の蛾類。誘蛾燈 120:71-74
- 4) 楠 祐一・高橋隆一・渡辺康之・保田信紀(1989) 北海道天塩岳の高山蛾。蛾類通信 152:19-20
- 5) 楠 祐一・渡辺康之・野田佳之・伊藤律子・保田信紀(1988) 日高山系幌尻岳周辺の蛾類相調査報告。上川町の自然 13:61-72
- 6) 鈴木重孝・駒井古実(1984) 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類。北海道林業試験場研究報告 22:85-129。
- 7) 神保一義(1987) 日本産高山性シャクガ科の国内分布について。TINEA12(Suppl.):220-225。
- 8) 保田信紀・楠 祐一(1986) 北海道上川町の蛾類。上川町の自然 11:19-96。
- 9) 神保一義・谷口高司(1971) 利尻島利尻山の高山蛾。蛾類通信 66:94。
- 10) 神保一義・柳田慶浩(1978) 北海道利尻島利尻山の蛾。誘蛾燈 74:135-139。
- 11) 神保一義(1984) 高山蛾—高峰を舞う蛾たち。築地書館、東京。
- 12) 酒井 香・花谷達郎・小沼 篤(1968) 利尻島動植物調査の記録[東京農業大学第一高校]:63-79
- 13) 楠 祐一(1975) 利尻島で採集した蛾類。Coe nonypha 31:603-605